

十一月の幼稚園

堀合 文子

十一月の保育

幼稚園……堀合文子
保育所……鈴木とく

十月から十一月の始めにかけて此学期の大きい単元は大体やり終えた事にして、十一月は幼児の遊びの中より直接取材したものを主題としてみる。幼児の遊びの中より安易に取材し、それを発展させて、又幼児の中へもどしてあげるとゆう形で、その園の環境、幼児により一概に言えぬが、此処には、よく幼児の間に展開されている遊びを一つの例として取りあげておく。繰返すようだが、計画はすべて幼児の年齢に應じた。又環境、その場の生活に應じた計画でなくしてはならなく、その計画は、時には、私共指導者より、幼児に働きかけたり、時には幼児の中より、主題をみつけ出して、それを指導者が展開してゆくのとがある事は前述した事である。今回のそれはそ

の後者の場合で、主題は無題、とゆう事になるでしょう。

幼児の生活の中から拾えばよいのだから、先生側は計画しなくてよいから棄だと思はれるかもしれないが、却つて、指導者が計画を持つてそれに誘導するより以上の手腕と経験とが必要で、取材の仕方により貧弱な主題にもなれば、すばらしい新感覚の主題にもなり、好いかげんにすれば、それですむし、一生けんめい努力すればする程むずかしい保育方法だと思ふ。その点、無計画保育とも名づけましょうか。これはより一層の研究と努力をまつ所だと思ふ。この点この、何処にでも転がっている平凡な題材を例にあげておきましたから御参考になれば幸いです。

年少組

主 題

○汽車（又は電車）ごっこ

幼児達が縄で電車ごっこをしている。幼児達と相談して方向書、停留場、信号旗、切符、切符入、車掌、運転手の腕章、カバン等を作る。保育室を全体、電車の走路にして、切符売場等もうけたりして遊ぶ。道具はなるべく、幼児の手で作ったものがよい。年少組は電車ごっこの程度でよいと思う。

○音楽会

うたの時を音楽会と名づけて皆と話合つて、自分達何か好きなものを一つづつやる音楽会を開きましょう。話合ふと皆それ／＼考えて、その日を楽しみにするものです。歌だけでなく、出来るものお話でも紙芝居でも何でもよいのですが年少組では一つ歌がうたえればよい事にしておきます。

これは必ず一つはする事にするのが大切です。やる人聞く人の態度もその都度しつけましょう。

○落葉あそび

木の葉もおちる頃となり、幼児達も遊んでいる途中きれいな葉つばといつて持つてきます。紅葉した葉、もみぢ、いちよう等美しい葉とみたり拾つたりしてあそび、絵にかければかきますが年少組は美

年長組

○汽車（又は電車）ごっこ

年長組では年少組より遊びも勿論複雑ですから、幼児達とよく相談して、種々道具をつくりましょう。年長組は今更この遊びをとり出すのがおかしい位もう前よりの遊びは盛です。それだけにこちらで手を入れて却つて興味をそこなわぬよう注意しましょう。年長組は電車ごっこより汽車ごっこの道具の方がよいでしょう。年少組の道具の他に踏切、シグナル・開札口・駅での売物その他駅の時間表とか種々と相談してつくり、保育室、庭を活動場面として、役割を決め順次交替して遊びます。

女兒のままごと遊びとも連絡して組全体がこの遊びに入るとその発展はおもしろいと思えます年少組と同様道具は下手でも幼児の手でなつたものを用います。踏切、シグナル等こしらえさせた様な道具は興味がうすれます。

○音楽会・ちえのわクラブ

音楽会は年少組とはこびは同じですが、お話、手品、紙芝居、ピアノ等種々年長組ではおもしろいのが出るとおもいます。

ちえのわクラブは、幼児の間にも此頃は三つの歌とかちえのわクラブとかいう言葉が話され、お互に遊んでいる事があります。それをとりあげて皆で楽しむ一時を作

しい葉をあつめておしげにしたり、形とつてあそんだりする程度でしょう。

りましょう。

勿論、幼児と相談して種々の規則等もきめ、始めから先生の案を提案してきめてしまう事はよします。歌のあてっこ・お話の題をあてるまちがいをさがす等おもしろいでしょう。賞品等出すのも一つの案ですがその賞品も幼児達の作ったものにします。

○落葉

年少組よりも少し観察細かに常盤樹との比較、あつめた葉の模様をつくつたり、そこに創作面を仿かせます。

○文化の日の話

○きのこのきのすけ

○踊り切らした靴

○文福茶釜

○ねずみの嫁入り

○七五三についで

○時局の話

世の中の大きな出来事を幼児と話合う程度。

○人形芝居「かたぐ、かたの竹馬小僧」

幼児達に人形を与えて自由につかわしてみよう。言葉のつかい方等簡単に指導する。

○落葉・紅葉

年少の時と同じ取扱いだ、年長ではその落葉で種々

お話

○文化の日の話

○平三さん権蔵さん

○一寸法師

○五色の玉

○不思議な卵

○七五三についで

○人形芝居「猿とかに」

自然観察

○落葉・紅葉

日毎に色が美しくなる庭の木をみながら、その移りか

わりを話合つて観察する。木の名前もこの時正しく覚える。

落葉を拾つて遊びにつかつたりして自然の中に観察させる。

○落葉たき

月末になると落葉をあつめて落葉たきをする。幼児達も手伝つて集め、その落葉の香りを味いながら、暖まる事も一つの楽しみなもの。

○みの虫

木の所にさがつているのをみつめて、着物をきる所をみせる。箱の中に紙又は小布を刻んで入れ、みの虫をその中に入れると次第に着物をきてゆく所がみられる。

○霜

はじめて白くおりの霜を皆で話合いながらみる。これからどん／＼寒くなる事も話合つと、幼児達もこれからの霜や氷に注意するようになるでしょう。

○藤・蔦の葉柄

落葉と同時に藤・蔦の葉柄が一杯おちる。春、夏、秋と変化して来たこれらの葉っぱや笑の話をしながら、この柄を集めて、むかでや亀を作つて遊びの一つとする面白さ。

○常盤木の葉

落葉樹と共に、葉のおちぬ木の話合いをし、どんな樹

創作して遊ぶ方へ導いてみる。

絵にかく。模様をつくる。葉を用いて製作品をつくる。押葉をする。等々。

○落葉たき

年少と同じ。

○白い息

次第に寒くなると自分達の吐く息が白くなる。寒い日この事を取上げて皆で実際に経験したりして話合つ。これから次第に寒さのます事も話しておく。

○七五三

子供達がこんなに丈夫に大きくなりましたとの御祝だという事を簡単に話しておく。

○からすうり

自然が次第に冬枯れてゆく中に赤くうつくしい実をみせる。つるの間にかわいらしい実をつける所をみせ、出来たら取つて来て写生させたり切紙にしたりして観察させる。

○霜

年少と同じ。

○常盤木

年少と同じだが、紅葉した葉と常盤木の葉との比較を實際にさせてみたり、この二つをまぜた、模様をつくらせたりしても又おもしろいものが出来る。

音楽
リズム

がおちないか。
簡単に比較して話す。

○もみぢ


○汽車が走る (律動)

汽車ごつこの主題に併せて、その遊びの中に入れれば
おもしろく出来る。幼児が汽車 (電車) を走らせている
時に弾いてあげるとよい。

○たきび

○おふる (律動)

○すずめ

○  のリズム

○楽隊あそび (ハンドカスタとタンブリン)

まだこの二つだけで、基礎打からいつもはじめて、後
にハンドカスタとタンブリンと別れて、曲により合奏す。

○鑑賞

○でんしやごっこ

○おちば (幼児のあそび)

幼児のあそびの中のゆらぎを用いるのと、同時に自由
表現としておちばを表現させてみる。

それが出来たら、芽が出て葉が落ちるまでの表現を自由
にあつかつて一つのリズム遊びにしてもおもしろい。

○かわいいボルカ (律動)

○のりものあそび (律動)

○拍子に歩く事

先ず二拍子で歩く事とする。拍子ではじめとリそれか
ら足に移す。

○楽隊あそび (ハンドカスタとタンブリンとトライア
ングルと大太鼓)

樂器の種類はやつと一通りになつたがある一定のもの
のみが出来るのでなく誰でも何をやらせても出来る様に
注意する。

いつも一応一人一人一樂器は経験する様基礎からはじ
める。

○鑑賞

別にレコードの名はあげておかない。これは必ずとい

画繪
製作

○電車ごつこの道具作り

- ・切符 年少だから字のかけるものはかくが絵の切符でよい。
 - ・腕章 腕にまく様に、色は好きな色にぬらせ、車掌、運転手とかく。
 - ・方向がき 繩につけるよう木の切片は、ボール紙でつるさげる様にして何処行とかく。その行先は幼児達と相談し字のかける人にかいてもらう。
 - ・車掌のかばん 書物のサツクか薄い箱を縦に用いそれに紐をつけて首からかける様にする。
 - ・停留場 細い棒に木の切を打つてそこへ停留場の名を書き立つ様にする。
 - ・信号旗 木はエナメルでぬつたりすると美しくなる。紙とヒゴとを与えて、自由に作らせる。が進め旗止れの旗はあらかじめ話合ひの中で理解させておく。
- 別にもの様な形という事はないが年少だから一定の形を作図して与え落葉拾ひの時それを用いて遊ぶ。
- お画かき(自由)

ら風になるから適当に園にあるものと同じものを繰返し
きかせるとよい。

○汽車ごつこの道具作り

- ・切符・腕章・方向がき・車掌のかばん・駅の立札・進号旗は年少組の時の要領でよい。
 - ・踏切 竹か木の棒にボール紙の札のようなのを数本間隔おいてぶらぶらするように下げる。色をぬる。
 - ・シグナル 大工仕事として、棒に赤・青の進号をつけたのを打つけるだけでよい。幼児の出来る範囲のシグナルで本式の様に似かなくともそれで却つてよいのである。
 - ・駅の売場 駅でのおべんとう・お菓子・牛乳・絵本・新聞等幼児とその種類を相談して、画用紙や空箱、空ビンを利用して作る。
 - ・開札口・切符売場 少し大きい箱に紐をつけて首にかける様にしてその売物を入れて売あるくようにする。
- 机や、大積木、リング空箱等を利用して、開札口の様に切符売場の様に幼児に工夫して作らせる。横木で遊ぶようにして作るので家のように作るのではない。
- トランク・鞆
お客様の用いるもので空箱に色をぬり手をつけ

○えのぐのお画かき(自由)

○切紙(自由)

○ぬりえ(及川先生のぬりえ)

寒い日が来ると部屋で遊ぶ事が多くなる。もう年少でも絵もかけるようになってたからぬりえをはじめ。自由にかゝせてよいがていねいにかく事、やたらと何枚もかゝぬ事、種々あいている所をたしてかく事を約束して与える。後は自分の好きな時にかく様にする。

○日の丸の旗作り

紙に丸の線のみかいたものとヒコを与えて自分達では工夫して作らせる。

文化の日に持つて帰るようにならせる。一年の中祝日の何度かでよい日の丸の旗をつくり持がえらせたいものです。

て作る。

まゝごと等で旅行にゆく時に用いる様にして遊ぶとおもしろい。

すべてこれらは幼児の手で作るので重荷にならぬ要求が大切である。大人の手でつくられたものよりも一層、尊く又幼児自身楽しみなのです。

○落葉拾いの籠

もう一度年少の時したが、作つてみましょう。年長だから、紙を与えただけで好きな籠を自由に作らせてみます。

○写生(紅葉した葉)

(からすうり)

○お画かき(自由)

○えのぐのお画かき(自由)

○切紙(からすうり)

(自由)

○ぬりえ

○自然物のおもちや

・葉柄で作る。むかで・かめ

・いちよう・もみぢの葉等で作る種々の人形とか動物とかを工夫させてみる。

○日の丸の旗づくり

年少と同じ

習 慣 き	健 康 の 習 慣	行 事
<p>○寒くなると手を洗う事が粗末になるからもう一度丁寧[●]に洗う事を約束する</p> <p>○人になにかしていただいた時は「ありがとうございます」といいますよ。</p> <p>○お友達をおしのけて先にしたりしないので順番に番をまちなしよ。</p>	<p>○十一月の身長体重測定</p> <p>○なるべく戸外であそびましょ。</p> <p>○なるべく戸外であそびましょ。</p> <p>○帰宅後のうがいは寒くなるから特別よくしましよ</p> <p>○次第に寒くなると部屋にとじこもりがちですからお天気のよい日は外でなるべく遊ぶようにしましよ。</p>	<p>○文化の日</p> <p>○勤労感謝の日</p> <p>○十一月のお誕生会</p>
<p>○手を洗う事を再び約束。</p> <p>年少と同じ</p> <p>○手洗所へ入る時は叩いてから入りましょ。</p> <p>○人に聞かれたときははつきりと返事をしましよ。</p>	<p>年少と同じ</p>	<p>年少と同じ</p>

十一月の保育所

鈴木 とく

私達がこの月の保育を、どの様にしたらいいかと考える時、自分の受持つ組の事をまず考えます。そして、それを実行する為、必

ず他の組との連絡が必要になります。出来ましたら、園長、主任を圍んで、その方達と共に、その月の、その保育所の保育を、どう運ぶかについて、主となる方の意見をきき、保母も亦、それに対して考えをのべて、いろいろと計画を立て、順序をねり、運び方について保母の考えを話合、と云う事が必要です。この事に慣れずに、